



道路しや断寸前の樹木

最高風雨を記録

千葉48・6ミ
横芝113ミ

が一部破損したほか、地盤のゆるみと強風で土砂崩れや樹木の倒伏が起き、また、宅地、水田、排水溝などからの溢水により道路の冠水等が各所で発生しましたが、いずれも小規模な被害にとどまりました。

そのほか、有線放送施設やテレビアンテナにも被害が及び、テレビアンテナにいたっては脚ごと倒壊したり、素子がふっ飛ばなどの被害が続出し、公団が設置したものでなくても250件に達しました。とりわけ生活に密着したテレビの被害は、日常生活に多大の支障を及ぼし、早期復旧を求める苦情が、連日窓口に殺到しました。

銚子地方気象台によると、最大瞬間風速は、千葉で48・6メートル、銚子45・8メートル、勝浦43メートル、館山41・3メートルで、千葉と勝浦は同測候所が開所して以来最大の記録を観測したそうです。

雨量は、横芝町が30日（24時間）に113ミリを記録、この日の雨量としては県内最高で、午後1時から2時までの1時間に24ミリというかつてない集中豪雨でした。

災害対策本部を設置

大型台風の上陸に備えて、30日町では災害対策本部を設置し、各関係機関との連絡や情報収集に努める一方、銚子地方気象台から発表される各種の警報をいち早く、有線放送や防災行政無線等で町民のみなさんに知らせるとともに注意を呼びかけ、また、関係職員が町内の河川、道路、農地等の巡廻パトロールを綿密に行うなど、徹夜で警戒に当たりました。台風の通り過ぎた翌朝からは被害調査を進めるとともに、被害箇所での修理・復旧に取りかかりました。

また、栗山川と隣接する屋形

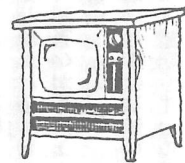
備えあれば憂いなし

日本は台風の通り道です。過去32年間の記録を見ると、1年間に平均3つの台風が上陸しています。できることなら、台風とは顔を合わせたくない———と思っても相手は「天災」そこで、「備えあれば憂いなし。」と言います。これからが本格的な台風シーズン、今回を教訓に家庭で地域で、話合ってみてはいかがでしょうか。

台風災害を防ぐために

- 家の外の備え** ○窓や雨戸はカギをかけ、必要なら棧を打ちつける ○排水溝を掃除しておく ○テレビアンテナは針金で固定しておく
- 家の中の備え** ○ガラス窓が割れないようにテープを張る ○カーテンを引いておく

台風情報に注意 ○台風が



なぜ遅れた復旧工事

地区では、栗山川の決壊に備えて、地元消防団が総動員で土の積みを行うなど、被害の防止に万全を尽しました。

7月1日未明の暴風雨により、テレビアンテナの倒壊が相次ぎ、空港公団に対する修復の申し出が続出しました。しかし、修復がはかどらず、公団への連絡窓口になっている役場担当課には連日苦情が殺到しました。空港公団ではこの間の事情を、取扱業者者に即刻復旧に当らせるなど最善の努力を払ったが、全域で千二百件近くの申し込みがあり、加えて再度の雨にたたられ、手がまわりかねた」としています。今後もありうる事態だけに、町では強く抗議し抜本的な改善策を求めました。

- 非常用品の準備** ○懐中電灯、ラジオ、水筒、非常食、救急薬品、下着などを用意しておく
- 避難の準備** ○避難場所の道順 ○避難命令の伝達方法、協力体制などを確認し合う
- 避難上の注意** ○危険を感じたり、防災機関などから避難命令が出されたときは、その指示に従う ○火の仕末をする ○持ち物は最小限にする